

# 議会だより こさか

2017年  
vol.82  
平成29年8月10日発行



あいにくの雨の中、小中高連携で会場を盛り上げたアカシアまつりのオープニング  
(6月10日、中央公園)

1. 6月定例議会 概要と議案一覧	2~3
2. 一般質問 こんなことを聞きました	4~7
3. 人事案件承認	8
4. 委員会レポート・全員協議会	9
5. 議員と語る会（6月）の概要報告	10

6月  
定例議会

# パークゴルフ場の クラブハウスを改修

・子育てワンストップサービス導入	95万円
・熊捕獲用箱わな購入	39万円
・グリーンツーリズム推進事業業務委託	121万円
・放課後子ども教室児童用ロッカー購入	125万円
・パークゴルフ場クラブハウス改修	410万円
	ほか

平成29年第4回小坂町議会定例会は、6月13日から20日までの8日間の会期で開催されました。

科医療の存続対策を求める請願などを審議しました。

6月定例議会では、一般会計と歯科診療所特別会計の補正予算案2件のほか、条例改正など3件をそれぞれ原案のとおり可決しました。

また、報告2件のほか、人事案件11件に同意。請願1件、陳情2件を採択。意見書案2件を可決し、決定案1件を決定し閉会しました。

(3面に議案一覧)

平成29年度の一般会計予算の総額は、今回の補正によつて41億3223万4千円となりました。

補正予算の中には、子育てワンストップサービス接続サービス導入95万円、熊捕獲用箱わな購入1台39万円、グリーンツーリズム推進事業業務委託121万円、放課後子ども教室児童用ロッカー購入5台125万円、パークゴルフ場クラブハウス改修410万円などが含まれています。



改修が予定されているみんなの運動公園のクラブハウス

補正予算審議のあらまし

みんなの運動公園

クラブハウスの改修だけでは不十分ではないか

問 みんなの運動公園のケーブハウス改修費が計上されていることにかかわって。

最近ハ、少ニカルアでの利用者が増加傾向で、町民の健康福祉の増進に大いに役立つてゐると考へてゐるが、利用者は町外・県外からもあり、立地条件が良いことなどから、県の大会が開催されることとなつたと聞く。

その際には多くの来町者が想定されるとと思うが、セパームからシヤトルバスの運行につ

県主催のような大きな大会

**答** 駐車場については利用者となれば駐車場がネックと考えるが、どう考えているか。

の方々と話し合いを行い、現在は開設当初に比べて、わずかではありますが拡幅しております、最大70台収容可能となつ

施設に対応する設備をする  
ことが責任者ではないか。  
**答** 前向きかどうかは考え方  
の違いがあると思います。  
駐車場を広くして、大は小  
を兼ねるということかも知れ  
ませんが、お金がかかります。

**答** 前向きかどうかは考え方の違いがあると思います。施設に対応する設備をすることが責任者ではないか。

問 財政の問題は、町長が総合教育会議の議長であることからも、積極的にかかわっていただきたい。

問 財政の問題は、町長が総合教育会議の議長であることからも、積極的にかかわっていただきたい。

ています。現在のところ車があふれてしまつたという事態はありませんでした。

ケテアハウス、田陰の休憩所、これも同様です。

指揮の全県大会ですが、参加規模は100名ほどと考えており、向かいの空きスペースを含めて対応できるものと考えています。

費をかけないでということ  
で、国などの補助金を活用  
し、利用者の方々と話し合い  
を進める中で現状となつたと  
考えて、います。

かたし、これから先どうしても対応できない場合は、その時点で考えていいきたいと思います。

教育委員会の重要課題は少子化対策、既存施設の改修などであり、こういった様々な問題を、まずは

間に合わなくなつた時点  
で対応とのことだが、施設設  
置者としての対応としていか  
がなものか。

課題を考えた時に、要望は多々ある中で総合的にとらえていかなければならぬと考えます。

**答** 前向きかどうかは考え方の違いがあると思います。施設に対応する設備をすることが責任者ではないか。

問 財政の問題は、町長が総合教育会議の議長であることからも、積極的にかかわっていただきたい。

駐車場を広くして、大は小  
を兼ねるということかも知れ  
ませんが、お金がかかります。

**答** 町部局、教育委員会と協議してまいりたい。

審議された議案一覧（※議長は採決に加わりません。）											
区分			議 案 名			補正予算			可決状況		
陳 情			請 願			報告			總務福祉常任委員会付託		
同正 条改 算	小坂町未来創生基金条例の一部を改正する条例制定	一般会計補正予算（第3号）	小坂町農業委員会の委員選任（一人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（二人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（三人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（四人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（五人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（六人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（七人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（八人目）（無記名投票採決）	小坂町農業委員会の委員選任（九人目）（無記名投票採決）
議案審査	鹿角の産婦人科医療の存続対策を求める請願	産業教育常任委員会付託	審議された請願・陳情一覧（※議長は採決に加わりません。）	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書	日本政府は、核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、禁止条約の実現に努力することを求める意見書	議員派遣の件について	平成28年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	平成28年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	平成28年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	平成28年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	平成28年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
-	11	11	賛成	-	11	11	11	11	9	10	8
-	0	0	反対	-	0	0	0	0	2	1	3
總務審査	採択	採択	採択	報告	可決	可決	可決	可決	同意	同意	同意
同上	日本政府が核兵器禁止条約の交渉会議に参加し禁止条約の実現に努力することを求める意見書提出についての陳情	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	可決	可決	可決
同上	総務福祉常任委員会付託	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	可決	可決	可決
同上	共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）法案の国会提出に反対する陳情	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	可決	可決	可決

## 1 10番 小笠原憲昭 議員

1. 3期目の重要施策について
2. 十和田湖整備計画について
3. 道路整備について
4. 特別養護老人ホーム入所について
5. 郷土館の整備について
6. 知事選挙の18歳、19歳の投票率について

## 2 1番 鹿児島 巖 議員

1. 高齢者が安心してこの町に住み続けられるために
2. みんなの運動公園の整備について

## 3 3番 本田 佳子 議員

1. 防災・減災対策について
2. インフラ修繕の迅速化について

一般質問

## 6月定例議会

こんなことを  
聞きました

3議員が質問しました



### 一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

# 国道と県道との交差点に右折レーンを

町長 国道282号の改良要望に加え必要性を訴えます



交差点の拡幅を



小笠原憲昭議員

## 個性的な町とは

答 鉱山文化などの歴史に育まれた人材の「人の個性」と十和田湖の自然、鉱山文化や近代化遺産群、資源循環への取り組みや環境リサイクル産業の「まちの個性」で、この個性をさらに輝かせ、人々の交流と地域産業が躍動し発展する姿を町の将来像としています。

## 通年観光・ワイナリー事業の今後の展開は

答 十和田湖冬物語のイベントをPRすると共に、十和田湖の四季や食等を積極的に情報発信してまいります。ワインリーの建物、機械関係は9月末の完成予定です。十和田湖高原パーク桃豚や十和田湖ひめますの地域食材と連携して、飲む・食べる・泊まるが連携した滞在型観光事業を目指してまいります。

## 十和田湖整備計画は

答 環境省では、今年度遊覧

## 小坂ジャンクションからグリーンフィル小坂への直結産業道路は

答 能代港からの産業廃棄物の一部は、日沿道を経由して小坂北インターで降り、国道282号を通り五十刈交差点

船発着所周辺の園地整備を行います。また、休平地区の遊歩道や案内標識、公衆トイレ、駐車場等の全体的な再整備が予定されています。県では、子口から滝ノ沢間の自然歩道整備と白地山登山道、西湖畔遊歩道等の再整備予定です。町の計画は和井内エリア再整備の基本設計に着手し、町側の十和田湖案内や明治百年通りへの誘客、特産品の紹介の拠点となるよう進めます。

## ゴールデンウィーク中の観光客は

答 十和田湖主要宿泊施設の宿泊者数は、前年比約8%増、外国人は2,671人でした。

康楽館は1,849人で前年比13%減、小坂鉱山事務所は1,959人で3%増、小坂鉄道レールパークは2,589人で10%増となっています。

## 特別養護老人ホームの入所基準は

答 平成27年の介護保険制度

から樹海ライン、グリーンフィル小坂に至っています。航空地図等で見ると、砂子沢入口付近から直線で2kmほどですが、簡単には実現できないと推測されます。長期的視点からは傾聴に値するご意見です。大型車両増加による交通安全に危惧しております。狭隘（きょうあい）急カーブの改善改良整備を早期に計つていただくよう国・県に強く要望してまいります。

## 国道と県道との交差点に右折レーンを

答 五十刈交差点への右折レーン設置については、要望していますが、交通量調査の結果、渋滞が発生せず難しいとされています。小坂製錬やグリーンフィル小坂への大型トレーラーの通行が多いことや近くに小中学校があり交差点が狭いことから、横断歩道での巻き込み等の事故も危惧されることを強調し、粘り強く訴えてまいります。

## 待機者状況は

答 純粹に在宅での待機者数は17人となっています。緊急に入所が必要な場合には、空きが出るまでショートステイを活用いただいています。

## 文化基金は特別会計で継続するのか

答 当面継続しながら今後のあり方を検討してまいります。

## 郷土館の収蔵室は

答 温度・湿度の管理をし、収蔵資料が傷まないよう配慮しています。定期的に整理することで対応してまいります。

## 知事選挙の18歳、19歳の投票率について

答 高校在学中の有権者はおらなかつたが、模擬投票の実施等で関心を高めてまいりました。

## 高齢者が暮らし続けるための冬期間のグループホーム（シェアハウス）を

町長 今すぐとはいが検討したい



鹿児島 嶽議員



除雪デーで高齢者宅支援

問 少子化と高齢化、そして過疎化が進むこの町に暮らす町民、とりわけひとり暮らしの高齢者、あるいは高齢者だけの世帯にとって、不安を感じる問題に、これからも町に住み続けられるのか、冬期間をどう過ごせるか、降雪とのせめぎ合いをどう過ごせるかという問題がある。

日常生活に支援や介護など必要としないし、できることなら町に住み続けたいと思つても、中には冬前に町を離れ、そのまま町に戻らない、戻れない、という実態も増えている。

そしてその結果が空き家の増加、過疎化の進行にもかかわってきていると受け止めている。

こういった実態に対応する施策として冬期間のグループホーム（シェアハウス）の建設を提案したい。

答 高齢者が地域で生活し続けるためには、克服すべき様々

な課題が存在しているため、介護保険制度以外にも軽度生活支援事業や、あんしん除雪支援事業を実施し、高齢者等の生活支援を行っています。

課題解決について地域コミュニティの向上による地域での見守りをはじめとした幅広い地域活動をとおして、住民主体のサービスである日常生活総合B型の拡大につなげていきたいと考えています。

また、冬期間のショートステイなどで、できるだけ住み慣れた地域で暮らし続ける事ができるよう努めていきたいと考えています。

問 提案した冬期間のグループホーム（シェアハウス）は降雪時期の3ヶ月あるいは4ヶ月間の仮住まいであり、住まわれる方々の主たる住居は変わらないことが前提であり、主たる住居の変更は必要ないし、施設なども、もつと簡素にあるいは柔軟に対応可能と考える。

な課題が存在しているため、

介護保険制度以外にも軽度生

活支援事業や、あんしん除雪

支援事業を実施し、高齢者等

の生活支援を行っています。

課題解決について地域コ

ミュニティの向上による地域

での見守りをはじめとした幅

広い地域活動をとおして、住

民主体のサービスである日常

生活総合B型の拡大につなげ

ていきたいと考えています。

また、冬期間のショートス

テイなどで、できるだけ住み

慣れた地域で暮らし続ける事

ができるよう努めていきたい

と考えています。

問 提案した冬期間のグル

ープホーム（シェアハウス）は

降雪時期の3ヶ月あるいは

4ヶ月間の仮住まいであり、

住まわれる方々の主たる住居

は変わらないことが前

提であり、主たる住居の変更

は必要ないし、施設なども、

もつと簡素あるいは柔軟に

対応可能と考える。

自立している高齢者の健康維持の点からも、冬期間の孤立を緩和することが有効であり、ぜひ実現に向けて調査をお願いする。

答 実態・意向調査などを行ながら、できれば町の中心部にシェアハウス的なものを造れたら良いのかなと思いますが、今すぐとはいきませんが検討したいと考えます。

## 「みんなの運動公園」の施設充実を

教育長 利用者の声を聞き取り組みたい

問 「みんなの運動公園」は開設以来少しずつ拡充整備が行われ、現時点ではその建設目的にそって順調に運営がなされていると考えている。

現在はパークゴルフのほかに、ジョギング、ウォーキング、散策や冬はスキーにと利用されており、このような多様性を備えた公園にふさわしい施設、景観の整備、グラン

ドカバーなどの植生の充実が必要と考えるがどうか。

答 「みんなの運動公園」は丈夫ですが、イベント時など

の対応は何か対策が必要とも考えます。現場に合わせて、

利用者の意見を聞きながら対応したいと考えます。

として、また自然散策や憩いの場として、利用していただきたいとして命名し、利用者の拡大を図つてまいりました。

今後はパークゴルフのコートに支障がないよう、利用者の声を聞きながら、公園を利用する方々にとって、楽しめ

スに支障がないよう、利用者の声を聞きながら、公園を利用

する空間、親しめる空間となるように、環境を整え、施設の充実に努めます。

駐車場については平日は大

丈夫ですが、イベント時など

の対応は何か対策が必要とも

考えます。現場に合わせて、

利用者の意見を聞きながら対応したいと考えます。



町の新たな魅力「みんなの運動公園」

# 防災・減災対策のための「路面地下空洞調査」を

町長 小規模の陥没は従来通りの対処療法としたい



路面地下空洞調査を行い、安全な道路を



本田 佳子議員

問 インフラの老朽化、また大雨などで地下の空洞化による災害が大館市でも発生しており、路面地下調査を行っている。道路の陥没を未然に防ぐために、目視だけではわからない道路や橋梁に地中レーダー装置搭載車両を走行させる「路面地下空洞調査」が東北では仙台市、八戸市で行われ始めているが、町ではどのように考へているのか。

答 全国的に小規模な陥没事故も頻発しており、改めて道路管理に留意するよう国・県より指導を受けているところです。原因のほとんどが地下構造物の経年劣化による破損などによるもので、町の現状を見ますと、そういった古く大規模な地下構造物は見あたらず、小規模な暗渠排水管の破損による陥没などはあります。陥没が発生した際には対処療法で素早く復旧した方がコストパフォーマンスは高く、費用対効果を見たとき陥

は大雨などで地下の空洞化による災害が大館市でも発生しており、路面地下調査を行っている。道路の陥没を未然に防ぐために、目視だけではわからない道路や橋梁に地中レーダー装置搭載車両を走行させる「路面地下空洞調査」が東北では仙台市、八戸市で行われ始めているが、町ではどのように考へているのか。

答 全国的に小規模な陥没事故も頻発しており、改めて道路管理に留意するよう国・県より指導を受けているところです。原因のほとんどが地下構造物の経年劣化による破損などによるもので、町の現状を見ますと、そういった古く大規模な地下構造物は見あたらず、小規模な暗渠排水管の破損による陥没などはあります。陥没が発生した際には対処療法で素早く復旧した方がコストパフォーマンスは高く、費用対効果を見たとき陥

没が起る頻度に対し、地下空洞調査にかかる費用が多額であることが見込まれることから、調査は行わず、従来通りの対処としたい。

問 町での現在の体制で、パトロールしながら問題箇所を全ての地域において点検・見回りするのは大変時間がかかり、町民の声に迅速に対応できず困難であると考える。町民が日常の中で見つけた道路の陥没などの問題箇所を発見したら、アプリを起動させて、その場で写真を撮影するとGPSで自動的にその場所の情報が特定され、穴が空いて危険！早急な対処を！」などの簡単なコメントを書き込めば、ボタン一つで写真付きで現場の状況と要望が、正確に役場の担当課に伝わり、情報を受け取った役場の担当課では問題の種類に応じて対応を検討し、経過を投稿者に返信したり、最終的に問題が解決した場合は改善流れになるというシステム。

## インフラの迅速化について 町民と協働で進めるシステムの活用を

町長 他の地域での活用状況を把握しながら前向きに検討していきたい

問 町での現在の体制で、パトロールしながら問題箇所を全ての地域において点検・見回りするのは大変時間がかかり、町民の声に迅速に対応できず困難であると考える。町民が日常の中で見つけた道路の陥没などの問題箇所を発見したら、アプリを起動させて、その場で写真を撮影するとGPSで自動的にその場所の情報が特定され、穴が空いて危険！早急な対処を！」などの簡単なコメントを書き込めば、ボタン一つで写真付きで現場の状況と要望が、正確に役場の担当課に伝わり、情報を受け取った役場の担当課では問題の種類に応じて対応を検討し、経過を投稿者に返信したり、最終的に問題が解決した場合は改善流れになるというシステム。



町民との協働作業で迅速な対応を

7 秋田県小坂町議会だより第82号 平成29年8月10日号

答 町民と協働で進めることのできる便利で理想的な取り組みであると思いますが、初めて聞いたシステムなので、アプリの内容や他の地域での活用状況、コストがどれくらいかかるかなどを確認、把握し、利用するにあたり問題がないか考慮し、小坂町でも活用が可能であると判断された場合は、前向きに考えていきたい。

答 町民と協働で進めることのできる便利で理想的な取り組みであると思いますが、初めて聞いたシステムなので、アプリの内容や他の地域での活用状況、コストがどれくらいかかるかなどを確認、把握し、利用するにあたり問題がないか考慮し、小坂町でも活用が可能であると判断された場合は、前向きに考えていきたい。



歩道の地下空洞調査機器

社会のインフラの迅速化、早期発見、補修に向けた対策を町民と協働で進めることができ、要望にスピード感を持つことから、このシステムの利活用の検討をしていただきたい。

答 町民と協働で進めることのできる便利で理想的な取り組みであると思いますが、初めて聞いたシステムなので、アプリの内容や他の地域での活用状況、コストがどれくらいかかるかなどを確認、把握し、利用するにあたり問題がないか考慮し、小坂町でも活用が可能であると判断された場合は、前向きに考えたい。

# 人事案件承認

## 6月定期議会

### 農業委員会委員



中村 吉夫 氏  
(新任)



小館 康弘 氏  
(新任)



亀田 静子 氏  
(新任)



中村修太郎 氏  
(新任)

### 固定資産評価 審査委員会委員



本田 有 氏  
(再任)

### 農業委員会委員



宮館 文男 氏  
(新任)



木村 功 氏  
(新任)



小館 正光 氏  
(新任)



目時 勝則 氏  
(新任)



大内 正富 氏  
(新任)



畠澤 富子 氏  
(新任)

### 小坂財産区管理会委員



本田 敦士 氏  
(新任)



木村 功 氏  
(再任)



澤田 寿々 氏  
(再任)



熊谷 敏 氏  
(新任)



澤口 紀夫 氏  
(新任)



熊谷 光康 氏  
(新任)

人事案件承認

4月臨時議会

# 委員会レポート

6月定例議会の会期中における各常任委員会の審議の状況を紹介します。

なお、各常任委員会に付託された請願や陳情の審議結果は、3面の議案一覧表をご覧ください。

ほしいというものです。

鹿角地域で唯一の分娩施設であるかづの厚生病院での里帰り出産の受入れ中止などは、女性にとって出産に対しても消極的になり、人口減少にも拍車がかかり、地域の衰退につながることが危惧されるところから、委員会の審議では全会一致で採択すべきとしました。

6月定例議会で総務福祉常任委員会に付託された案件は、請願1件、陳情1件の計2件でした。審議の結果、請願と陳情は採択すべきと決定しました。また、継続審査となつていて陳情は引き続き継続審査とすべきと決定しました。



かづの厚生病院

## 産業教育常任委員会

6月定例議会で産業教育常任委員会に付託された案件は、陳情1件でした。

審議の結果、陳情は採択すべきと決定しました。

## 総務福祉常任委員会

現在、庁内の除雪研究部会で課題に対する施策の取りまとめを行っており、今後、9月定例議会での補正予算で具体的な事業を予算化することになります。

## 雪対策の万全化に意見

委員会では、産業教育常任委員会が担当する、所管課からの報告についても意見交換しました。

この中で、雪対策について未使用となっているストックヤード

## 全員協議会

7月13日、議会全員協議会が開催され、小坂鉄道レールパークの構内を視察しました。

平成26年6月にグランドオープンして以来、ディーゼル機関車運転体験やブルートレインあけぼの号の導入など、様々な企画を展開してきました。しかし構内の施設・設備は同和鉱業から譲渡されましたが、今後維持管理が難しい施設や設備等が多くあるほか、現在使用している施設等の現状についても、確認する必要があることから実施されました。



未使用となっているストックヤード



現状は物置となっている旧保線区事務所兼倉庫



# 第26回議員と語る会の概要 (意見や要望事項等)

平成29年6月28日(水)に小坂町交流センター・セバームにおいて、全町を対象に開催された議員と語る会の概要についてお知らせします。

**質問** 旧七滝小学校の利活用については、現在どうなっているのか。

**答弁** 当局からは1階に花輪ふくし会の事業所等、2階は高齢者住宅との案が出されたが、2階の高齢者住宅が高額な費用がかかるとのことから、費用対効果も含めて白紙に戻したいとのことです。

**質問** 雪対策の現状はどうなっているのか。

**答弁** 現在、町で除雪研究部会を立ち上げて、今冬に向けて検討しているところです。

**意見** 高齢者の住宅は利便性を考え、買い物や銀行等に行ける場所への設置を検討していただきたい。

**質問** 第5次小坂町総合計画や小坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略について、年度ごとの評価、検証は行っているのか。

**答弁** 総合計画を進めるための実施計画については、毎年度見直しを行っている。

**質問** 今後、人口減少や財政の逼迫など厳しい状況になると懸念され、公共施設等の改修費用を捻出する力が無いのではないか。また、そのために職員の給料や数を減らす必要があるのではないか。

**答弁** 町の財政状況については、指数・指標からみても危機的状況ではないと思っている。

**意見** 今後、博物館や図書館等の公共施設を維持、小坂鉄道レールパークの運営、町製造のワインの消費等に関して、町民からもアイデアを求めることがよいのではないか。

**意見** まちづくりについては、マイナス思考ではなくプラス思考で取り組むべきである。総合計画等はP D C Aサイクルに基づき、改善されることが望ましい。

**要望** 雨が降ると中央公園の芝生がぬかるんでひどい状態となるので、改善をお願いしたい。最先端の技術を紹介しているあきたエコタウンセンターを、町民にもぜひ見てほしい。

**質問** 小坂鉄道レールパークの今後について、経営を維持するためには多額の税金をつぎ込まなければ不可能であると判断されるが、この事業の今後の見通しは。

**答弁** 平成29年度から指定管理により経営が行われる訳ですが、町では今後5年間の指定管理のなかで収支状況の改善に努力することであるので、議会や町民も盛り上げ、経営努力がされたかどうかの判断をしていきたい。

**質問** 鹿角地域の3高校統合についての進捗状況はどうなっているのか。

**答弁** 今年に入ってからは全く進展は無かつたが、小坂の生徒が通学するにあたって、最も便宜の良い場所が新しい高校の場所でなくてはならないと考へてある。

**質問** 県外の方には十和田湖は青森県のものだろうと言う方が多いが、町民も十和田湖で行われているイベントのうち知らないものもあるのではないか。

**答弁** イベントは青森県側が主体となることが多い。十和田湖地区の住民は連携してやっているので問題はないが、青森・秋田の県レベルや十和田市側のこれまでの概念を緩和できるように努めていきたい。



41名の町民が参加し意見交換

交流センター・セパームで、本年第一回目の「議員と語る会」が開催されました。全町を対象とは言え、41名の方々のご出席をいただき、大変に驚くとともに感激いたしました。町の動きに関心を持つていただき、忌憚のない意見交換の場としてこれからも活用していただきたいものです。

さて、議会だよりのなかで、一番難儀していると思われるは、多分一般質問のページだと思います。このページは全て質問者が編集することになつております。質問の趣旨、なぜ質問しようとしているのか、また、答弁する側としての意図するところが十分に伝わっているのだろうか。皆さんそう思いつつ、限られた紙面に向かい戦闘しているのではないかと思うところです。できれば、直接足を運んでいただき傍聴していくだければ、両者のニュアンスも掴んでいただけます。